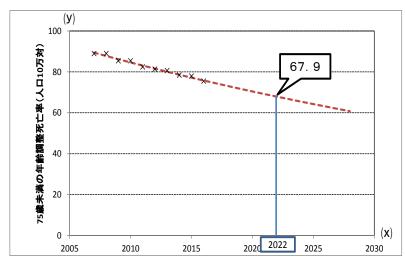
- ◆ 東京都がん対策推進計画(第二次改定)における「がんの75歳未満年齢調整死亡率」の目標設定について
- ◎ 東京都の第3期のがん対策推進計画においては、都のがん対策を推進する上で、その進捗状況を図る指標として、「がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対) → 減らす(67.9未満)」と設定する。

(考え方)

- ・国の第3期計画には、がんの75歳未満年齢調整死亡率の目標値は設定されなかったが、前回の東京都がん対策推進協議会において、「がん対策を推進する上で、 東京都として何らかの指標はあった方がよい」との意見があったため、改めて検討:根拠のあるデータを活用した都独自の死亡率の減少(従来設定していた目標は "10年間で20%減少")を積算することは困難と判明
- ・そこで、「がんの75歳未満年齢調整死亡率を減らす」ことを第一義的な指標とし、数値としては、"これまでの取組を反映した上で、さらに今後、様々な施策を 進め、がん対策を加速化することにより、下記の計算により推計した67.9よりも減らす"という目標を設定

計画最終年度に把握できる75歳未満年齢調整死亡率の推計

		果只都
	西暦(x)	75歳未満 年齢調整死亡率(y)
H18	2006	91.2
H19	2007	88.9
H20	2008	89.0
H21	2009	85.4
H22	2010	85.4
H23	2011	82.4
H24	2012	81.4
H25	2013	80.6
H26	2014	78.4
H27	2015	77.9
H28	2016	75.5
H29	2017	74.4
H30	2018	73.1
H31	2019	71.7
H32	2020	推計値 70.4
H33	2021	69.1
H34	2022	67.9
H35	2023	66.7



・西暦(x)、75歳未満年齢調整死亡率(y)として、2006~2016年の値(直近11年分・変化としては10回分)の東京都における75歳未満年齢調整死亡率を対数線形回帰による計算式にすると、

v=exp(-0.018363x+41.347898)

と表せる。

・このxに、例えば、2022(計画最終年度の2023年に把握できる最新の西暦) を代入すれば、

v=67.9

と計算できる。

⇒ 計画最終年度に把握できるH34年(2022年)の推計値は、67.9となる。

(出典:平成29年度全国がん登録都道府県行政担当者研修・実務者研修資料)